

いづばん質問

本定例会での一般質問は、12人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

※ 会派に所属していない議員につきましては、氏名の下の会派名は記載していません

淵澤能恵・顕彰の考え

顕彰等について支援していく



「ラム」が、日本韓国語教育学会によって開かれた。この大会で、村上淑子著「淵澤能恵の生涯」が、県立大学の姜奉植(カン・ボンシク)教授によって韓国語に翻訳されて、韓国で出版になったことが主題となって議論された。韓国の国際化財団では、

この本が、友好交流増進に役立つことを期待している。新たな局面を迎えた顕彰活動への、市長の率直な所見を伺う。
A(市長) 淵澤能恵の素晴らしい生き方は、後世に伝承していかなければならないものと確信し、本市で構想している先人

記念館のテーマの1つとして、さらなる研究を重ねるとともに、国際文化交流として韓国との交流も視野に入れて検討していく。また、淵澤能恵を顕彰する会の皆さまにより、顕彰碑が建立される事業を支援していきたい。淵澤能恵を顕彰する会をはじめ関係する団体や研究者の皆さまと協力しながら顕彰等について支援していく。



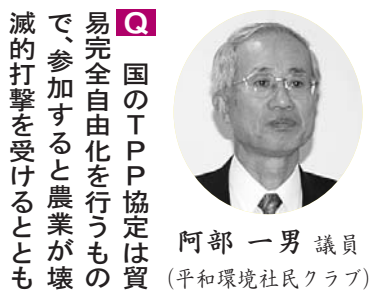
淵澤能恵を紹介するパネル(石鳥谷図書館内)



TPP問題は日本の農業を大きく左右する

TPPは農業と地域の問題

慎重かつ適切な対応を要望する



に、地域社会も崩壊する懸念がある。TPPに対する市の考えを伺う。
A(農林水産部長) TPPのあり方に関する議論に当たっては、農業はもとより、その関連産業を含めた地域産業に支障が生じないよう十分配慮するとともに、関係者から

の意見を踏まえて、慎重かつ適切に対応していただくよう全国市長会を通じて要望している。
在宅介護の充実を

うとともに、在宅介護者全員が定期健康診断できるような実態調査し、市の支援が必要な場合は対応すべきと考えるが所見を伺う。
A(生活福祉部長) 市では40歳以上の方を対象とし健康診断を行っているが、各振興センターや自治公民館など市民が受けやすい会場を設定しており、あらためて介護者への健康診断を行う考えは持っていない。

まちづくり基本条例の運用は

市民参画を柱に行政評価も実施



て意味がある。どんなに優れた理念を書きつづけた条例も、それを動かす仕組みがなければ、単なる作文に過ぎない。条例施行後の市政運営をみると、果たしてこの条例をつくって何が変わったのかよく見えてこない。これは、制定後のフォロー、

具体化に向けた取り組みがおろそかになっていることが懸念される。まちづくり基本条例が適切に運用されているのか。
A(政策推進部長) 市民参画の方法については、パブリックコメントや意見交換会などの2つ以上の手法で実施している。

また、協働の推進が図られるよう市民との協働指針を策定していきたい。今回提案する「花巻市コミュニティ地区条例」も安定して継続を推進する仕組みを確立するという観点から定めるものだ。行政評価の結果についても市のホームページで公表しており、今後も広く市民の意見が反映されるよう市民参画を図っていききたい。住民投票については国の地方自治法の抜本的改正の結果をみたい。



合衆市構想の説明会(八幡振興センター)